

さぽせん あいかわ

第7号
2010/10/15

編集・発行 あいかわ町民活動サポートセンター
運営委員会

住所 愛川町角田251番地1

電話 046-205-1323 FAX 046-205-1324

<http://town.aikawa.kanagawa.jp/saposen/index.htm>

あいかわ町民活動サポートセンター

あいかわ町民活動応援事業、7事業を採用！！

5月29日の審査会を経て、7事業に対して総額924,124円の補助が決定しました。

「防犯ブザー点検事業」

補助額32,000円(おもちゃの病院愛川)

町内の小学生が保有している防犯ブザーの点検・修理を実施し、児童が安全に安心して登下校できるよう支援する事業を実施しています。

「妊婦と親子のためのサロン開催事業」

補助額67,124円(とまり木)

乳幼児を持つ親と妊娠中の親が、子育てについての悩みや疑問・不安を話す場を設け、子育てのゆとりと自信を持たせるための子育てサロン及び講習会等を開催しています。

「『宮沢の里』整備事業」

補助額300,000円(宮沢の自然を守る会)

平成18・19年度の町民アイデアまちづくり事業(高木の伐採や樹木の植栽など)の補助を受けた里山を今年度「宮沢の里」と命名し、自然環境の啓蒙と当地の名称を示す看板などを設置しています。

「野外観察会」

補助額25,000円(サークル愛川自然観察会)

月1回、会員と参加を希望する一般町民が野外観察会に集い、町域の自然の成り立ちや動植物の観察を行い、自然の不思議さや魅力、四季の変化を体感するとともに自然と人との関わりについて学ぶことにより、自然がもたらす恵みにふれることができる観察会等開催しています

「アジアの未来を子どもに託すプロジェクト」

補助額300,000円(NPO ユーラシアンクラブ・愛川サライ)

町内の小中高校生とその親を対象に、アジア・シルクロード地域の人と文化の理解促進を目的として音楽や文化の鑑賞教室、体験型ワークショップなどを開催しています。



あいかわ町民活動応援事業審査会の様子

「小沢イルミロード計画」

補助額100,000円(小沢イルミロード実行委員会)

新しい歩道と休憩スペースにクリスマスイルミネーションの飾り付けを行うことにより、以前この場所にあった桜並木に代わる小沢の新名所とし、また、地域の人々のコミュニケーションの場になります。

「『杜仲の魅力学ぶ』植樹祭」

補助額100,000円(愛川杜仲研究会)

- ・杜仲茶を利用したレシピの公募コンテストの開催・町の文化祭等開催時に中央農業高校生による杜仲研究発表の実施
- ・杜仲についての栽培技術学習会の実施(年2回)

■あいかわ町民活動応援事業とは、町民皆さんが自主的・自立的に行う公益活動に対して、町が資金的なバックアップ(スタート応援補助10万円以内、ステップアップ応援補助30万円)する制度です。

詳しくは町行政推進課へお問い合わせください。

さぽせん活動短信

■ 10月24日のふるさとまつりは、さぽせんも出展します！

多彩な展示をご用意してお待ちしております！！

特集「協働」って何？

町の総合計画案に『協働のまち』がうたわれました。今回はそのテーマを特集します。

「協働」のはじまりは？

アメリカのある市で、「自治体もボランティアに協力を！」という運動が起きました。
90年に東海大の荒木先生が、その行政の協力を「協働」と名づけて、運動を紹介しました。
神奈川県はそれを受け、「かながわ県民活動サポートセンター」を作りました。
それが『協働の夜明け』です。

協働って？

人によりさまざまな解釈がありますが、県ではこう定義しています。

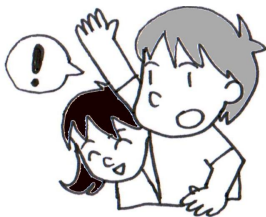
「ボランティア団体等および県が、相互にそれぞれの特色を活かして、
地域の課題の解決を図るために協力すること」

相模原市の場合は？

協働事業提案制度

課題解決に向けて行政との協働事業として実施することを目指して住民と行政、さらには個人がアイデアを提案し合い、検討して事業化していく制度です。

- ①市民提案（市民が企画）
- ②行政提案（市が提案）
- ③アイデア提案（市民が簡単なスタイルでアイデアを提案、それを事業の芽に）



アダプト制度

地域住民の皆さんが里親となり公園、緑地、道路、河川敷などの美化活動を自発的にを行い、自治体が清掃用具や花などを支給して活動を支援する制度です。



市民ファンド制度

「住民の皆さん一人ひとりの想いを皆の想いへ」という観点から、市民や企業の皆さんからいただいた寄付金で、市は集まった寄付金と同額（上限500万円）をファンドに支出しています。
市内で社会貢献活動を行う市民活動団体の活動を、市も財政的に支援し、市民活動のより一層の活性化を図る制度です。



その他

- ・パートナーシップ市民フォーラム
さがみはらの運営支援
- ・NPOの設立事務説明会の開催
- ・地域活性化事業交付金制度
- ・さがみはら市民活動サポート
センター設置



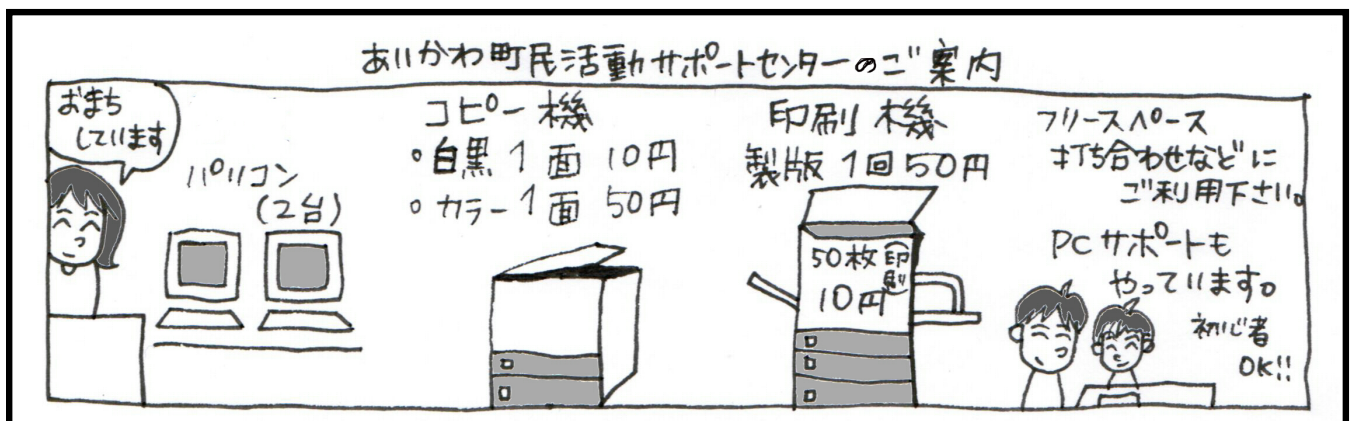
そして、「あなたが主役のまちづくり」へ！

みんなの町だから、みんなでいい町へ。
協働はそのみんなで助けあい、知恵を出し合うまちづくりです。
私たちさぼせんの委員もがんばります!!

協働してみた。イメージーまちづくり・みんなでやろうー



他にもいろいろな分野で協働によるまちづくりを展開していけるものと考えています。



シリーズ サポセン利用団体探訪

愛川自然観察会

- 横顔 設立: 平成20年2月15日
- ・設立の動機; 退職したら何か地域に貢献できることは無いものかと考えながら町の中を日々一人歩きしていました。これを一人で歩かないで同士がいればと思いついたとき、中津溪谷の植物展を愛川町が開くことになりました。その時の来場者に会の発足を呼びかけたら20名近くの賛同があり設立へとなった。
- ・一般の人たちも参加する月例会で集まる膨大な情報の処理はどのようなキーワードでも抽出できるようにパソコンのデータベースの構築を進めているそうです。

●問い合わせ先 代表: 山口 勇一さん 090-9399-3910

●代表の声

愛川町町域は山や川を基盤とした多様な自然があります。そこを生活の場とするたくさんの動植物がいます。自然が織りなす様々な営みは町域に暮らす人々の生活に四季折々の恵みをもたらし、豊かな心や健康を育んできています。自然の息づかいを感じてみませんか。自然の恵みに触れてみませんか。

●探訪感想

- ・自然を相手に幅広い活動を精力的に行って地域社会に貢献されていることがよく分かりました。愛川町は自然が豊かでと誰もが言うが現状は危機的な状況もあるということを訴えたいと熱く言われた代表の言葉が印象的でした。



あシボ（愛川シニアボランティアグループ）

- 横顔 設立: 平成16年4月1日
- ・設立の動機; わたし達のグループは、個々の人生経験を生かしボランティア活動を通じ住みよい環境と交流・親睦の輪を広げ、手となり足となり社会へ奉仕することを目的とするものです。活動としては、高齢者、障害者、特に必要と認められる方、施設、団体などのイベント等のお手伝いを行っている町内在住のシニア男性グループです。

●問い合わせ先 代表: 遠藤 幸夫さん 046-281-3703

●代表の声

- ・定年退職した男性25名のグループで、現役時の特技及び趣味で培った技術を生かして社会貢献している団体です。定年後どうしても男性は仕事中心で長年生活してきたため、地域の中になかなか解け込みにくい状況です。半分仕事（ボランティア）半分あそび（交流）で定年後の生きがいを見つけ楽しんでいます。今回は、町内の車椅子整備を行っています。子供のころ自転車修理をしていた経験を生かし頑張っています。定年後、地域活動に一步踏みこみ、生きがいをという男性の方は、是非参加をお願いします。

●探訪感想

- ・今回、愛川町の福祉施設にある車椅子を順次点検整備を行うという、非常に大変でかつ意義ある事業を開始したとのことで取材させていただきました。町の各施設には、数百台の車椅子があると思いますが、私が伺った施設でも約20台を、数人で作業されていました。油の切れた車輪・タイヤの空気もれやパンク等、使用できない車椅子が整備により使用できるようになるのは、すばらしい事業だと感じました。



■編集後記

今回のさぽせんニュースは、協働を特集しました。あいかわ町民活動サポートセンターは、発足して4年目となりました。今まで以上に多くの町民のみなさんの公益活動をサポートできる体制を模索しており、その答えが協働にあると考えて記事と致しました。次号も協働特集の第2弾を予定致しております。スタッフ・運営委員は、今後とも努力してまいりますので、皆様方のご支援ご協力よろしくお願いいたします。(M・W)